

## 東通村漁業連合研究会「サケ漁況の見通しに係る研修会」を開催

10月1日(木)、村体育館において村漁業連合研究会(会長：川口浩)が「サケ漁況の見通し」についての研修会を開催し、地方独立行政法人 青森県産業技術センター 内水面研究所 主任研究員 白板孝朗氏より講演をしていただきました。

サケの回帰予測は、過去の河川回帰尾数、沿岸回帰尾数と年齢構成、海況予報等から予測されますが、今年の太平洋沿岸での河川回帰尾数は13.8万尾(昨年：8.4万尾)、沿岸回帰尾数は97万尾(昨年：77万尾)の見込みのため、サケ漁の見通しは「昨年より良い」と予測されるとのことでした。

当村のサケの水揚量は、平成2年から9年までは4,000トンから5,000トンと県内でも有数の水揚げを誇っていましたが、平成10年以降は2,000トン前後、近年では約1,000トン前後と低調に推移していることから、会員は講師の説明に熱心に耳を傾けていました。



講師 白板主任研究員



熱心に耳を傾ける参加者の皆さん

## 村の水産振興発展に尽力される

### ～第24回東通村漁協役員研修会及び第46回東通村水産功労者表彰式～

10月15日(木)、東通村水産振興推進協議会(越善靖夫会長)の主催により、第24回東通村漁協役員研修会並びに第46回水産功労者表彰式が開催されました。

村内各漁協の役員等約80名が参加した研修会では、国立大学法人 北海道大学大学院 水産科学研究院 特任教授 桜井泰憲氏から「スルメイカの生態と鮮度保持技術による高付加価値化」と題し講演がありました。

研修終了後には、今回で46回目となる東通村水産功労者表彰式が行われ、長年漁協役員・職員として村の水産業発展に功績のあった方々(右表)に対し、越善会長から表彰状と記念品が授与されました。

表彰された皆さんおめでとうございます。



漁 協 役 員		
氏 名	所 属 ・ 役 職 名	在 職 年 数
竹 林 雅 史	猿ヶ森漁業協同組合 代表理事組合長	21年0ヶ月
畑 中 由 彦	野牛漁業協同組合 理事	21年0ヶ月
川 村 敏 博	小田野沢漁業協同組合 代表理事組合長	20年1ヶ月
井戸向 栄 一	石持漁業協同組合 監事	20年0ヶ月
二本柳 松三郎	小田野沢漁業協同組合 代表幹事	10年0ヶ月
白 濱 成 人	岩屋漁業協同組合 監事	10年0ヶ月
漁 協 職 員		
氏 名	所 属 ・ 役 職 名	在 職 年 数
西 山 孝 一	白糖漁業協同組合 販売課長	30年0ヶ月
杉 本 猛	野牛漁業協同組合 販売係	15年0ヶ月